

思いっきり遊び、学び、交流した 全労連九州ブロック「ウルトラ青年交流集会 in 唐津」

9月14日(土)～15日(日)、全労連九州ブロックとしては初の企画となる全労連九州ブロック青年交流集会「ウルトラ青年交流集会」を唐津市内で開催しました。佐賀県労連青年部連絡会はこの日に向け、昨年末に現地実行委員会を結成し1年がかりで準備をすすめてきました。

今回の参加者は全体で91名。佐賀県内からは50名以上が参加しました。佐賀県の内訳は全医労16名、高教組6名、全建労4名、唐津市労連4名、医療生協労組3名、革新懇3名、全労働2名、建交労2名、自治労連1名、全司法1名、佐教組唐津支部2名、佐賀新聞労組1名ほか。多くの組合に呼びかけた結果、これまで繋がりがとれていなかった青年部も結集しました。

運動会、地引き網、バーベキューで 親睦を深めた初日

実行委員会では1日目に交流を中心とした企画で全体の親睦を深め、二日目に学習会で労働組合の知識を深め、分散会で交流を深めようと試みました。

一日目は「炎の運動会」と題し浜崎小学校体育館で運動会を行いました。競技種目は風船割り競争、アンパン競争、棒周し競争、ムカデ競争、馬跳び、捜し物競争を行いました。最初は初対面ということもあり遠慮がちでしたが、誰でも参加できる協議と、司会の(熊丸さん)のテンポ良い進行も相まって、競技がすすむにつれて会場から笑い拍手がおこり、チームが一体となっていきました。

その後、浜崎海岸に場所を移し「地引き網」をおこないました。全体を二手に分けて2カ所から漁師さんの仕掛けた



網を約30分かけ引っ張りました。網は予想以上に重く、運動会の疲れも重なりヘトヘトになりながら引き上げました。網にはコノシロやチヌなどが入り、漁師さんも驚くほど大漁でした。捕れた魚は夕食のバーベキューで刺身や唐揚げで唐津の海の幸を堪能しました。

夕方からおこなわれたバーベキューでは引き続き班ごとに火を囲み交流を深め合いました。また県ごとの紹介もおこなわれ、今回に向けた各県のとりくみが紹介されました。バーベキュー終了後も宴会は続き、2次会、3次会と深夜遅くまで交流は繰り広げられていました。



いろんな組合の活動や意見を聞き勉強になった！

二日目は遊びから一転、学習と分散会をおこないました。深夜までつづいた交流で眠たい目をこすりながらの学習でしたが、講師の榎本さん（熊本県労連議長）の話しを熱心に聞きました。榎本さんは労働組合の基礎的な知識から、組合が求められている役割など短時間で幅広い分野の講演をされ、「若い人の豊かな発想をいかした組合運動をしてほしい」と訴えられました。

その後の分散会では講演の感想やそれぞれの労働組合活動交流や悩み、どんな活動をしていくべきか、などの意見を述べ合い、様々な職場の実態を情報交換しました。

二日間はあっという間に過ぎましたが、運動や学習を通じ九州全体が一つになったと実感出来る集会となりました。また、参加者からは「楽しかった」「次回も参加したい」など第2回目の開催を求める声が多く出され、一年かけてつくりあげてきた実行委員会の成果が実った集会となりました。

アンケートの回答

「労組に入って間もないので、とても勉強になりました」「いろんな職業の方の現場を知るよい機会となった」「運動会は始まるまで参加したくなかったが始まったら非常に楽しかった」「他の労組のかたとお酒を交わしながら交流できてよかった」「楽しむ部分と学ぶ部分とメリハリをつけられればこのような企画でいいと思います。」「次回があればもっと多くの仲間を連れて行きたい」

